

飯野ビルディング

所在地：千代田区内幸町 2-1-1

登録者：飯野海運株式会社

◆完成年月 2014年10月 ◆敷地面積 8,027㎡ ◆緑地面積 1,594㎡ (うち樹木面積 1,594㎡)

◆URL : <http://www.iino.co.jp/iinobuilding/>

飯野ビルディングは、100年先まで使えることをコンセプトとした最先端の環境配慮ビルです。その屋外空間である緑地「イイノの森」では、都市における生物多様性の保全と創出を目指し、敷地を取りまく環境に適した在来種主体による森づくりに取り組んでいます。

植栽計画は、潜在自然植生を参考にするとともに、皇居東御苑の雑木林、愛宕山神社の社叢林・斜面林など、近傍の緑地の植生調査を行った結果を反映して作成しました。また、周辺地域において行われた生きもの調査を基に、鳥（メジロ、コゲラ、オナガなど）とチョウ（ナミアゲハ、ヤマトシジミ、モンシロチョウなど）の誘致目標種を設定し、それらの食草・食餌木となる在来種を数多く植栽しました。加えて、緑地内には鳥類の誘引のため、巣箱やバードバスを設置しています。

緑地の維持管理においては、農薬の使用を極力行わない方針を定め、害虫発



在来種に囲まれた散策路

生時にのみ生態系への影響が比較的小さいとされる薬品に限って使用するとともに、緑地内の落ち葉を処分せずに残す、剪定枝の一部を緑地内に堆積して昆虫等のすみかをつくるなどの配慮を行っています。

敷地内では、「ミツバチプロジェクト」としてニホンミツバチの養蜂も行なわれています。



飯野ビルから日比谷公園へとつながるアプローチ



チョウが好む樹種の植栽エリア

江戸のみどり登録緑地

<優良緑地>

(2018年3月登録)



在来種植栽情報

○面積割合

高木	73 %
中木及び低木	45 %

○在来種の種数

高木	24 種
中木及び低木	13 種

○おもな樹種

アカガシ、シラカシ、タブノキ、ヤマモモ、ヤブニッケイ、イロハモミジ、ヤマザクラ、アセビ、マンリョウ、ヤブコウジ、ヤマツツジ、ウツギ ほか